



勿来関が描かれた絵はがき「淡色版・勿来名所」〔昭和時代初期 佐々木商店発行〕

いわき市で最も多くの絵はがきが発行された場所として挙げられるのが、勿来地区の勿来関跡や勿来海岸、勿来海水浴場の組み絵はがきです。発行元は地元だけでなく、平町や茨城県平潟町、東京都など、さまざまな業者や機関、団体が手掛けました。

古さと新しさが同居する
勿来地区

絵はがきの
中の
「いわき」



明治時代に誕生した絵はがきは、新聞と並んで、重要な情報伝達媒体として使用されてきました。絵はがきに残る当時の風景などを通して、市内十三地区の歴史や文化をひもときます。

なかには、茨城県北部の名勝地と組み合わせた観光絵はがきが、茨城県平潟町の業者によって発行されており、後の、県境をまたぐ広域観光の一端を垣間見ることが出来ます。

その一方で、大正時代初期に進出して半世紀にわたって稼働した大日本炭鉱株式会社勿来鉱が、会社PRを兼ねた組み絵はがきを何度か発行しました。昭和時代初期に錦村に進出した昭和人絹株式会社錦工場や、後を引き継いだ呉羽紡績株式会社錦工場（現在の株式会社クレハいわき工場）も大勢の従業員を採用するため、組み絵はがきを発行しています。福利厚生が整っていることをPRしようと生け花の修業やスポーツ大会などが紹介されました。

珍しいところでは、昭和二十二年（一九五七）年から稼働した常磐共同火力株式会社勿来発電所の絵はがきが建設会社によって発行されています。

このほか、植田市街や鮫川、松山寺、植田八幡神社などが絵はがきにおさめられました。

（いわき地域学會 小宅幸一）

川前地区に地域おこし協力隊を配置

地域振興課中山間・沿岸地域係 ☎22-7415

8月1日から川前地区に、新たに地域おこし協力隊を配置しました。

地域おこし協力隊に任命された長郷優佳さんは、いわきの里鬼ヶ城や地域資源である菜種油などのPR活動に取り組み、地域活性化を図っていきます。



長郷さんからのメッセージ



長郷優佳さん

いわきの里鬼ヶ城を出会いの場として活用し、すてきな思い出を川前地区で作っていただけるような企画を考えていきたいです。

コロナ禍で大変なときですが、収束したら、多くの方が川前地区に集い、地域の振興と活性化が進むよう、地域の皆さんと一緒に頑張っていきます！



2022年2月27日(日)開催 (雨天決行)

走り抜こう！ 潮風香るフラの街いわきを！！

第13回 いわきサンシャインマラソン

今大会は新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、感染症防止対策を徹底した上で、規模を縮小しての開催になりますが、明るく元気ないわきの姿を全国に発信していきます。

○お問い合わせ
いわきサンシャインマラソン実行委員会事務局（スポーツ振興課内）
☎22-7607 FAX22-1285
✉info@iwaki-marathon.jp

ボランティアとサポートメンバーを募集

○ボランティア

- ▶対象 中学生を除く15歳以上の方（高校生は保護者の承諾が必要）
- ▶内容 コース係、給水係、会場係など

○サポートメンバー

- ▶対象 大会当日にランナーを応援していただける団体や個人（高校生以下のみの団体は引率者が必要）
- ▶内容 沿道での大漁旗による応援や楽器演奏など、さまざまな応援

○案内（共通）

- ▶申し込み方法 実行委員会事務局、各支所・市民サービスセンター、市内商業施設などに備え付けの申込用紙（公式ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、〒970-8686 いわきサンシャインマラソン実行委員会事務局へ（FAX可）
 - ▶申込期限 10月31日(日)消印有効
- ※ボランティアの割り振りやサポートメンバーの配置については、全体のバランスを考慮し、実行委員会事務局で決定しますので、希望に添えない場合があります。
- ※来年1月に説明会を開催しますので、参加してください。



公式HP

